

七ヶ浜ロータリー・クラブ会報 9月

 	 <p>復興を誓って 前へ 地域へ奉仕を</p> <p>2012～13 年度 七ヶ浜ロータリー・クラブ 会長 渡邊 陽一</p>	 <p>信頼と絆で 復興に全力を あげよう</p> <p>2012～13 年度 2520 地区 ガバナー小野寺 則雄</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>2012～13 年度 国際ロータリーのテーマ</p>	<p>奉仕を通じて 平和を Peace Through Service</p>	<p>国際ロータリー 会長 田中 作次 (日本・八潮RC)</p>
-----------------------------------	--------------------------------------------------------	-------------------------------------------

会長 渡邊 陽一 ・ 副会長 渡辺 透 ・ 幹事 岡崎 正憲
◆例会日：毎週月曜日 18:30～19:30 ◆例会場：七ヶ浜国際村セミナー室 ◆住所：宮城県宮城郡七ヶ浜町花淵字大山 1-1
◆電話：022-357-5931 ・ FAX022-357-5932
◆事務所：宮城郡七ヶ浜町汐見台 5-2-45 ◆電話：022-357-6961 ・ FAX022-357-6961
◆会報委員長：星 孝逸 ・ 副委員長：遠藤 均
◆HP：<http://shichigahama-rc.com/> ◆E-mail：shichigahama-rc@peach.jp

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進することにある。

9月 新世代のための月間 (New Generations Month)

1996-'97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

新世代奉仕 (New Generations Service)

新世代とは

各ロータリアンの責務は、年齢 30 歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることです。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であります。

新世代のための会議 (Conference for New Generations)

ロータリー・クラブは、地域社会レベルで、新世代の人々が地域の指導者と関心事を話し合い、希望、夢、抱負を表明し、自分と地元地域社会の問題の解決策を探るための討論の場を提供すべきです。

青少年プログラム

新世代のための R I 常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換があります。年齢 30 歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけようと、ロータリーのプログラムに参加しています。青少年プログラムの参加者は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加することによって、自分自身と

世界について発見することができます。そのほか、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念についても学べます。

ライラ (LYLA : Rotary Youth Leadership Awards)

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。RYLAの対象となるのは年齢12~30歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、12~18歳、19~30歳など、年齢層を絞って実施しています。RYLAは、リーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。

インターアクト (Interact)

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクト・クラブは、支援や指導を与えるロータリー・クラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

クラブ会員の構成はさまざまです。男子のみ、女子のみのクラブもあれば、男女混合からなるクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。

毎年、インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会辛仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクター (インターアクト・クラブの会員) は地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクターの活動の真髄です。

ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、120余りの国や地域に11,000以上のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、200,000人近くの若者がインターアクトとかわりを持っています。

ローターアクト (Rotaract)

ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリー・クラブが提唱しています。ローターアクト・クラブは、提唱ロータリー・クラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。

ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つとして、200余りの国や地域にある7,000以上のローターアクト・クラブを擁するローターアクト・プログラムは、世界的な現象となりました。

青少年交換 (Youth Exchange)

世界を前進させる力。ロータリー青少年交換に参加する学生は、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし、学校へ通います。

ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は、新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することになります。また参加者は、白国やその文化、自分の考えを会った人々に伝える若き親善使節として、親しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

年間8,000人以上の若者が、ロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。これは、一生に一度の機会です。

2012~13年度小野寺則雄ガバナー公式訪問3クラブ合同例会

多賀城RC・第1958回例会
七ヶ浜RC・第846回例会
塩釜東RC・第2242回例会

平成24年9月5日(水) 12:30~
例会場: ホテルグランドパレス塩釜

S・A・A 小柳 敏文

塩釜東RC会長 佐々木 正樹

ソングリーダー 狭間 識

1. 開会点鐘

2. 国家斉唱

3. ロータリーソング 「奉仕の理想」

4. 四つのテスト斉唱

5. ゲスト・ビジター紹介

R I 第2520地区ガバナー

小野寺 則雄 様

〃	第六分区ガバナー補佐	日野	勝博	様
〃	代表幹事	新毛	国信	様
〃	地区幹事	荒谷	拓和	様
〃	米山記念奨学生	陳	凱幼	様

6. 食事

7. 会長挨拶 塩釜東RC会長 佐々木 正樹

8. 幹事報告 塩釜東RC幹事 赤間 一司

9. 委員会報告 「米山奨学生 陳 凱幼様へ奨学金授与」

多賀城RC会長 佐藤 良一

10. 記念卓話 「国際ロータリー第2520地区ガバナー」 小野寺 則雄 様

11. 記念品贈呈 3クラブより 国際ロータリー第2520地区ガバナー 小野寺 則雄様へ

12. S・BOX紹介 S・BOX委員長 吉木 由美

13. 出席報告 出席委員長 吉木 由美

14. 閉会点鐘 塩釜東RC会長 佐々木 正樹

15. 諸事連絡 S・BOX委員長 小柳 敏文

【記念撮影】 13:30～ *4階写場にて *多賀城RC ⇒ 七ヶ浜RC ⇒ 塩釜東RC

ガバナー公式訪問合同記念例会 会長挨拶 佐々木 正樹 様

本日は、多賀城RC、七ヶ浜RC、塩釜東RC、3クラブ合同のガバナー公式訪問のホストを務めさせていただきます。塩釜東RC会長の佐々木です。

本日のガバナー公式訪問合同例会の開催にあたり、3クラブを代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まず、小野寺則雄ガバナー、日野勝博ガバナー補佐、代表幹事、そして地区幹事におかれましては、本日の3クラブ合同ガバナー公式訪問、大変ご苦労様です。3クラブ会員一同、皆様の公式訪問を心から歓迎申し上げます。また、3クラブ各会員の皆様には、何かとお忙しい中をご出席頂き、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、合同例会に先立ちまして、今年度のクラブ運営活動や各奉仕委員会の活動計画等について、ガバナー、ガバナー補佐を交えての会長、幹事会を各クラブ30分という限られた時間の中で開催いたしました。悩みや問題点などについて、小野寺ガバナーと率直な意見交換を図ったところであります。

東日本大震災から1年半近くになりますが、各クラブともそれぞれ何かしらの悩みや問題を抱えていると思います。一つの問題としては、会員増強が思うようにならないことではないでしょうか。幸いなことに、当クラブでは、1名の方が復帰し、1名が入会準備をしていて、今現在、2名の増強ができそうです。何年かぶりの会員入会のため、インフォメーションはしっかりしたいと思います。もう一つは、会員数が少なくクラブ運営が緊縮財政だということです。金銭的支援は難しく、体を動かし汗をかく奉仕で、地域社会に貢献することが一番だと思って活動いたします。小野寺ガバナーには、今後とも引き続き私共のクラブ運営活動並びに奉仕活動に対し、特段のご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、小野寺ガバナーに於かれましては、これからもハードなスケジュールの中での公式訪問が続きますので、健康には十分留意され、第2520地区全クラブの公式訪問を無事終わられますようから御祈念を申し上げ、ホストクラブを代表して挨拶とさせていただきます。

ガバナー公式訪問記念卓話 国際ロータリー第2520地区 ガバナー小野寺 則雄 様

今回訪問しました3クラブは、昨年3月11日の東日本大震災において大変な被害を受けました。被災された皆様には改めて、哀悼を申し上げます。

大震災後は、辛くて嫌な思いもしたと思います。大震災から1年半が経とうとしております。復興はまだまだこれからで、今始まったばかりと聞いております。

午前中に行われた3クラブの会長、幹事との懇談会においても被害のこと、これからの復興のことについて話を聞かせていただきました。地区としても世界のクラブ、日本のクラブへの橋渡しをして、出来るだけの支援をしていきたいと考えておりますので、是非、地区へご要望を頂きしたいと思います。

我々2520地区では26の被災クラブを抱えておりますが、これは地区全体の三分の一のクラブ数になります。1日も早く全81クラブと一緒に足並み揃えて復興が出来るよう全力で取り組んでいきたいと思っております。

既にご存知とは思いますが、日本の第2770地区、埼玉の八代ロータリー・クラブの田中作次氏が今年度国際ロータリー・クラブの会長に就任されました。ロータリー100年の歴史においては、日本人のRI会長としては田中氏が3人目で、前回の日本人会長就任より30年ぶりのことになります。私としても、田中氏と同じ年度にガバナーを務めさせていただく事はとても光栄なことです。同時に責任も重大と感じております。微力ではございますが、田中RI会長のお手伝いが出来ればと思っております。

日本のすべてのガバナーが皆同じ気持ちです。田中作次R I会長は今年度1月に、世界に向けて『奉仕を通じて平和を』というテーマを発表しました。田中R I会長ご自身、戦後65年を通じて日本が平和の中で今日のような発展をしてきたことを世界に知らせるとともに、世界全体が平和になっ

てもらいたいという願いが込められたものと思われ

ます。田中R I会長が平和を届けるという意味を込めて、世界の3つの都市でロータリー世界フォーラムが開かれます。11月にはベルリンで、年が明けた1月にはハワイのホノルルで、5月の17・18日には日本の広島で開催されます。私も是非参加したいと考えております。又、ロータリアンはもとより、これからの日本を背負って立つ若い世代の方々も一緒に参加して欲しいという要請もありますので、行事内容が決まり次第、各クラブにご案内申し上げます。

次に、次年度より現在のロータリー財団の仕組みが「未来の夢計画」に変わることになりました。その中で、補助金・マッチンググラントの申請などが、なかなか進まないことを改善しようと取り組んでおります。ロータリー財団が1985年以来、ポリオ撲滅に取り組んでから早30年が経過しておりますが、未だに撲滅には至っておりません。今尚、世界にはポリオの発症に悩んでいる国があります。田中R I会長は出来るだけ早い時期に

なくそうとしております。皆様も、引き続きご協力お願い致します。それから、世界・日本・地区で抱えている大きな問題として、会員の減少があります。現在、世界でロータリー会員が120万人いるといわれておりますが、なかなか増えず、むしろ減少傾向にあります。R Iでは、これから3年間で10万人の会員増強を考えております。

地区としても、現在の会員2200名に対して、今年度200名の増強を図れるよう、会員増強委員会とも計画しております。先日も委員会が開かれて、10月中の会員増強セミナーの開催が計画されております。会員を増やしていかないと将来のロータリーの活動が変わってきます。会員が減りますと、地区の一人当たりの負担金ばかりが増加してロータリーの活動が出来ない状況になってきます。各クラブに対しては今年度、1ないし2名の会員の増強をお願いします。会員増強はロータリーにとっても差し迫った緊急の問題でもあるのです。

来年度7月以降にはロータリー財団の仕組みが変わると思われ

ます。今年度から来年度に向けての準備に入っていこうと考えております。財団委員会を中心に各クラブの財団委員会の研修会・セミナーを計画しております。

地区行事としては、G S Eの交換行事として、メキシコのマサトラン4200地区から団長以下5名が来日し、また、当地区からはメキシコへ5名派遣することで準備がなされております。国際奉仕では今年度、長期交換留学生としてアメリカ・フランス・台湾より4名の留学生がきております。これに対して当地区からはアメリカ・フランス・台湾へそれぞれ1名を派遣しております。これから短期の留学生募集を行います

が、昨年、一昨年とロータリーの活動が若干、停滞したといわれている中で、従来の規模ではないまでも、是非留学生を送りたいと思

います。米山記念奨学生については、昨年度は全国で800名の奨学生を支援しており、今年度は100名減の700名となっております。当地区では、岩手・宮城併せて14名の奨学生をお世話しております。この奨学金制度は日本独自の奨学金制度ですが、色々なご指摘、ご批判がある中で、現状では力強く支援していきたいと思

います。最後に、地区大会は来年の4月20・21日を予定しております。二戸は遠いところではありますが、新幹線も通っております。又、その節は雪も無く桜の季節ですので、どうか楽しみにしてお出で下さるようお願い申し上げます。さらに、今年度の世界大会はポルトガルのリスボンで6月23日から開催されるとR I会長より案内が参っております。是非、皆様とリスボンでお会いしたいとのことです。

第2520地区が少しでも良い年であり、来年の6月には悔いの無い年度を終えたいと思っておりますので、このクラブ会員のご支援・ご協力を宜しく申し上げまして私の挨拶と致します

【S・BOX委員会】

遠藤 均君：小野寺則雄ガバナー本日は、
公式訪問ありがとうございました。

岡崎 正憲君：	“	“	“	“
鈴木 昭君：	“	“	“	“
鈴木 喜市君：	“	“	“	“
鈴木 正敏君：	“	“	“	“
山崎 澄義君：	“	“	“	“
渡邊 透君：	“	“	“	“
渡邊 亨君：	“	“	“	“
渡邊 陽一君：	“	“	“	“

【出席委員会】……………本日の出席数（率）及び前回修正

19名中 19名出席 →100% 前回修正・前々回修正ナシ

七ヶ浜ロータリー・クラブ第 847 回例会プログラム (2012～2013 年度 第 9 回)

平成 24 年 9 月 10 日 (月) 18:30～例会場 七ヶ浜国際村

プログラム 『卓話』 新世代奉仕委員長 渡邊 善夫

※次週以降例会プログラム予定

9 月 17 日 (月) 休日休会

9 月 24 日 (月) 社会奉仕委員会担当例会

<会長の時間>

みなさんこんばんは、毎日暑い中ご苦勞様です。

朝晩、だいぶ涼しくはなりましたが、今年は例年になく残暑が続いていますので、健康管理には十分注意願いたいと思います。

それから、大町委員長をはじめ 20 周年準備委員会の皆さんご苦勞様でございます。20 周年に向けての準備のほうも着々と進んでいるようでございますので、今後ともよろしく申し上げます。

また、20 周年記念事業の一環でもあります当クラブのホームページも開設されましたので、会員のみならずぜひアクセスしていただきたいと思っております。ホームページ開設に当り、特に渡邊善夫記念事業委員長には、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

私も閲覧しましたが、たいへんきれいに出来たなと思っております。

ほんとうにありがとうございました。

3.11 の東日本大震災から早いもので、明日で 1 年半が経とうとしていますが、まずは、復興の第一歩として発信していきたいと思っておりますので、よろしく御願いたします。

最後になりますが、今月は、新世代の為の月間となっております、本日のプログラムのほうは、新世代委員長の渡邊善夫さんとなっておりますので、よろしく御願いたします。

第 847 回例会幹事報告

1. 七ヶ浜国際交流協会会長より、「七ヶ浜国際交流協会第 3 回役員会の開催について」の案内が届いております。

日 時 平成 24 年 9 月 24 日 (月) 午後 7 時 30 分～

場 所 七ヶ浜国際村セミナー室 2

2. 七ヶ浜パイレーツ親の会会長より、「鈴木初雄氏 宮城県スポーツ少年団野球協議会 会長就任を祝う会」の案内が届いております。

日 時 平成 24 年 11 月 3 日 (土) 午後 3 時～

場 所 七ヶ浜国際村セミナー室 2

会 費 7,000 円

3. ロータリーの友事務所より、「ロータリーの友 9 月号」が届いております。

本日の卓話 『古河 RC・神奈川東 RC・富山シティ RC 訪問説明』 新世代委員長 渡邊 善夫 会員

東日本大震災慰問に対し御礼を山崎直前会長他会員数名にて、栃木県古河 RC・神奈川県神奈川東 RC・富山県シティ RC 各クラブ表敬訪問致し、プロジェクター使用、写真を交えながら説明できたことに「感謝」

親睦委員会】…ゲスト及びビジター

【S・BOX 委員会】

大町 睦夫君：本日のプログラムよろしく。

今日、ニュージーランド首相が来町しました。

加藤 寿光君：卓話ご苦勞さまです宜しく申し上げます。

佐藤 孝君：卓話ご苦勞さまです宜しく申し上げます。

鈴木 喜市君：卓話ご苦勞さまです宜しく申し上げます。

鈴木 巧君：初めての出席委員の仕事頑張ります。

山崎 澄義君：渡邊善夫会員、卓話宜しく申し上げます。

渡邊 透君：渡邊新世代委員長卓話ご苦勞さまです。

渡邊 陽一君：渡邊善夫委員長卓話宜しく申し上げます。

渡邊 善夫君：新世代奉仕委員会担当例会です。宜しく申し上げます。

【出席委員会】……………本日の出席数 (率) 及び前回修正

19 名中 17 名出席 →89.5% 前回修正・前々回修正ナシ

七ヶ浜ロータリー・クラブ第 848 回例会プログラム (2012～2013 年度 第 10 回)

平成 24 年 9 月 24 日 (月) 18:30～例会場 七ヶ浜国際村

プログラム 『卓話』 社会奉仕委員長 加藤 寿光

※次週以降例会プログラム予定

10 月 1 日 (月) 職業奉仕委員会担当例会

10 月 8 日 (月) 祝日休会

10 月 15 日 (月) 幹事担当例会

<会長の時間>

みなさんこんばんは、暑さ寒さも彼岸までといいますが、やっと秋らしいくなってきて、だいぶ涼しくなりました。最近では日中肌寒いと感じる時もありますので、風邪などひきませんよう健康管理には十分配慮願いたいと思います。

大変遅くなりましたが、この前、理事役員会で議題になりなした結婚記念日、誕生日の件ですが、今年度も毎月初めに、ご紹介のみとなりましたので、ご了解願います。

それから、報告なのですが、9 月 30 日 (日) に今年度も古河ロータリークラブより等クラブを通して七ヶ浜町教育委員会に支援金贈呈となりました

時間の方は、10 時 30 から仙台火力発電所を視察していただいてから中央公民館で 11 時より贈呈式となります。仙台火力発電所視察の際、鈴木巧会員・渡邊善夫会員には御足労をおかけしますが御案内のほどよろしく願います。

時間の取れる会員は、ぜひ出席願いたいと思います。

最後になりますが、本日のプログラムは、社会奉仕委員会担当ということですので、加藤委員長よろしく御願います。

第 848 回例会幹事報告

1. 第 2520 地区ガバナーより、「会員増強・ロータリー情報セミナー」開催のご案内が届いております。
日 時 平成 24 年 10 月 6 日 (土) 午前 11 時 15 分～
場所 ブランニュー北上・北上市大通り 1-10-1 (北上駅西口徒歩 2 分) 0197-72-7075
2. 第 2520 地区ガバナーより、「奉仕研修セミナー」開催のご案内が届いております。
日 時 平成 24 年 11 月 11 日 (日) 午前 11 時 15 分～
場 所 ホテルシティプラザ北上 北上市川岸 1-14-1 0197-64-0001
3. 塩釜ロータリー・クラブより、「第 6 分区松塩グループ レクリエーション」の日程の電話連絡がありました。
日 時 平成 24 年 10 月 20 日 (土)
場 所 仙塩ゴルフ倶楽部浦霞コース
詳 細 後日通知
4. 第 2520 地区ガバナー事務所より、「10 月のロータリーレート」の通知
届いております。 1 ドル = 80 円

本日の卓話「社会奉仕とは」

社会奉仕委員長 加藤 寿光

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。

ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することです。この奉仕の理想の適用を実行することについては、各ロータリー・クラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきました。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられます。

社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会です。

地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリー・クラブにとっても献身に値することであり、社会的貴務でもあります。

社会奉仕プロジェクトは、・地域社会と関連していること。

- ・ロータリアンにとって学びの機会となること。
- ・地域社会におけるロータリー・クラブの役割を見出す こと。
- ・現状の支援源をもってロータリアンがどのような援助をできるか判断すること。

社会奉仕の機会に関する項目

地域社会のニーズを特定するとともに、新しいクラブ奉仕プロジェクトを奨励し、すでに地域社会でロータリ

一・クラブが行っている活動の焦点を逸らさないため、R I 理事会は、奉仕の機会に関する項目として次の9つの世界的な課題のリストを作成しました。(参照 Web) <http://www.rotary.org/R I documents/ja-pdf/605b-Ja.pdf>

1. 危機下の児童

世界各地では、安全な水や食糧に事欠き、基本的な衛生設備や教育さえ無縁という生活を送っている子供たちが何百万人も存在します。このような子供たちのために。

ロータリアンは学校の建設やポリオの予防接種を実施するなど幅広いプロジェクトに打ち込んでいます。

2. 障害者

全世界には600万人近くの障害者がいます。このうちのおよそ80%が、適切な医療や職業訓練に加えて雇用の機会も限られている発展途上国に住んでいます。ロータリアンは1913年以來、障害者が教育・雇用・基本的サービスを平等に受けられるよう支援するプロジェクトに力を注いできました。

3. 保険 (医療)

毎年、何百万人もの人々がエイズやマラリアのような予防可能な病気で死亡しており、汚染された水から感染する病気や出産が原因で死亡する人々にいたっては、膨大な数となっています。ロータリー・クラブは、診療所の建設や整猫を行ったり、先天異常のある子供たちを対象に手術を手配したりして、家族や地域社会を建て直すことに貢献しています。

4. 国際理解と親善

過去10年間に、武装紛争の犠牲となり命をなくした人々の数は世界中で何百万にも上り、何兆ドルもの財政負担も重くのしかかっています。ロータリー・クラブは、親善を推進し、地域社会と経済開発を改善する国際プロジェクトを実施することで、国際理解を広く支援しています。

5. 識字率能力と計算能力

世界には、基本的な読み書きと計算能力の猫わっていない人々が8億人余り存在します。ロータリアンは本の寄贈や学校の建設を行うほか、自らが個人教授となってこの問題に取り組んでいます。

6. 人口問題

飢餓、貧困、病気、環境破壊など、世界の問題の多くは人口動態を反映しています。

ロータリアンは、これまで長年にわたり地域社会において、質の高い妊産婦医療の提供、男女の平等と女性の白助白立の推進、職業技能と雇用機会の開発などに力を注ぎました。

7. 貧困と飢餓

1日1米ドル以下で暮らしているおよそ11億人の貧困者は、絶えず飢えと栄養失調に直面しています。ロータリアンは、それぞれの地域社会が白助白立できるよう、多数の奉仕プロジェクトを実施しています。その内容はマイクロクレジット(小口融資)プログラムの設置から貧困家庭に農業の訓練を提供するなど多岐にわたっています。

8. 環境保全

汚染、持続不可能な農耕法、劣悪な土地管理など、人類はとどまることなく環境を痛めつける行為を続けています。ロータリアンは、何年にもわたって、公園の建設から地域社会リサイクルプログラムの導入に至るまで、1000という環境プロジェクトを実施し続けています。

9. 都市問題

世界の都市人口は、2030年までにはほぼ50億人に達すると言われていています。都市の拡大に伴い、十分な住居、雇用、安全な水、基本的な衛生設備の確保はますます難しくなる一方で、病気、失業や犯罪、ホームレスといった問題は確実に増えつつあります。ロータリアンは、家庭内暴力犠牲者のための避難所を設置したり、地域社会に花壇を造るなど、都市人口が直面する最も難しい課題に挑んでいます。

第848回例会幹事報告

1. 第2520地区ガバナーより、「会員増強・ロータリー情報セミナー」開催のご案内が届いております。

日 時 平成24年10月6日(土) 午前11時15分～

場 所 ブランニュー北上

北上市大通り1-10-1(北上駅西口徒歩2分) 0197-72-7075

2. 第2520地区ガバナーより、「奉仕研修セミナー」開催のご案内が届いております。

日 時 平成24年11月11日(日) 午前11時15分～

場 所 ホテルシティプラザ北上 北上市川岸1-14-1 0197-64-0001

3. 塩釜ロータリー・クラブより、「第6分区松塩」グループの日程の電話連絡がありました。

日 時 平成24年10月20日(土)

場 所 仙塩ゴルフ倶楽部浦霞コース

詳 細 後日通知

4. 第2520地区ガバナー事務所より「10月のロータリーレポート」の通知届いております。1ドル=80円

【親睦委員会】…ゲスト及びビジター

塩釜東ロータリー・クラブ 赤間 一司 様

【S・BOX委員会】

赤間 一司様：9/5 開催した、ガバナー公式訪問
合同例会では大変お世話になりました。

加藤 寿光君：会員の皆様ご提案宜しくお祈いします。

斎藤 勝良君：塩釜東RC幹事赤間一司様ようこそ。

佐藤 孝君：卓話ご苦勞さまです宜しくお祈いします。

鈴木 昭君：卓話ご苦勞さまです宜しくお祈いします。

鈴木 喜市君：塩釜東RC赤間様ようこそ。

鈴木 巧君：卓話ご苦勞さまです宜しくお祈いします。

渡邊 透君：赤間様ようこそ。加藤会員卓話よろしくです。

渡邊 亨君：卓話ご苦勞様です宜しくお祈いします。

渡邊 陽一君：加藤委員長宜しくお祈いします。

渡邊 善夫君：赤間様ようこそ。加藤会員卓話宜しくお祈いします。

【出席委員会】………本日の出席数（率）及び前回修正

19名中 17名出席 →89.5% 前回修正・前々回修正ナシ

RI指定記事

RI会長メッセージ ロータリーの未来を支える新世代奉仕 P1

RI会長 田中 作次

田中RI会長は、「今日の青少年は、未来のリーダーであるということを忘れてはなりません。若いリーダーを育成すること、そして彼らを新会員として迎え入れることによって、私たちは地域社会をより良くし、ロータリーの未来を確かなものにする事ができるのです」と述べています。

ロータリーの最も新しい第5の奉仕部門、新世代奉仕について、「ロータリーの未来を支え、『超我の奉仕』において重要な一歩」であると結んでいます。

全文(英文・邦文)は[こちら](#)



特集 新世代のための月間 新世代は未来のリーダー P5

日本のロータリアンたちは、さまざまな角度から新世代奉仕に取り組んでいます。各クラブの活動を紹介しました。

米山記念奨学生がつないだ縁——

ネパール都市部の小学校を支援

大宮シティRC 伊藤 悟

ネパールに2校目の教室増設

橋本RC 平井 孝幸

カンボジアの小学校に図書寄贈！

富岡RC 小林 夏夫

ラオス訪問で「人間の幸せ」体感

豊橋ゴールデンRC 高橋 雅男

震災後の決意を語り合う——

新世代のためのロータリー会議

鹿児島中央RC 深野木 信

郷土の偉人の歴史漫画本を子どもたちに

結城RC 海老澤 功

小学生同士の国際交流——オーストラリアの小学校を表敬訪問



神戸中RC 米田 修

観客席に下りて語りかけ——中学生対象の出前講座

善通寺RC 細川 督夫

「中学生のインターンシップ体験発表会」事業が文部科学大臣賞受賞

郡山北RC 中川 秀幸

学校訪問コンサート 刈谷RC 馬場 理好

貴重な地域の奨学制度——(財)都城地区ロータリークラブ教育振興基金

都城北RC 新森 彬博

しじみ汁、6杯おかわり！ 宍道湖で「水辺の教室」 松江東RC 鐘築 一雄

サッカーボール、青空に舞う 鎌倉中央RC 都筑 健一

ロータリー青少年交換の関係者がバンコクに集う

RI指定記事 先輩から学ぶこと THE ROTARIAN9月号 P14-19

KATE NORAN

世界で4番目に創立した伝統あるシアトルロータリークラブでは、後継者の問題が浮上していました。クラブでは、生き残りのために、若い成功者に対して門戸を開く必要があると判断、56人の40歳以下の会員を迎えました。歴史あるクラブで若いロータリーのリーダーたちを養成し、若い会員たちがどのようにロータリアンとしての経験を積んでいったのかを紹介しています。

心は共に 東日本大震災 地元のオーケストラが結んだ縁

被災地の中学生をチェコへ 東京町田サルビアロータリークラブ P20-21

成田への送迎 東京町田サルビアRC会長 清野 修一

被災地の中学生とチェコ訪問

日本チェコ友好協会会長・町田フィル後援会員 大鷹 節子

町田サルビアRCは、地元のオーケストラを支援してチェコの子どもたちをホームステイさせた縁で、被災地、大船渡と陸前高田の中学生26人をチェコに招待するというチェコ日本友好協会のプロジェクトに協力して、中学生たちを成田空港に送迎しました。



旧交を温めロータリーを語る 第3回 日台ロータリー親善会議 P22-23

昨年の6月に開催される予定だった日台ロータリー親善会議は、東日本大震災のために延期され、1年後の本年6月1日京都で、台湾側約270人、日本側約450人が出席して開催されました。日台のロータリアンと家族が再会し、旧交を温めました。



Rotary Moment 心に残るロータリーの体験 1 P24-25



新設の投稿欄です。「ロータリアンになって良かった」と思った瞬間、その瞬間は人それぞれだと思いますが、ロータリーの活動の中で何か心に残る出来事を紹介する欄です。今後もふるってご投稿ください。

ロータリーに感謝！！ 塩釜RC 桑原 茂

日本から派遣されたRI会長代理

徳島南RC 森本奈津子

よねやまだより

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識—— 寄付金・財政編 —— P26-27

今月のよねやまだよりは、前号に続いて「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」の寄付金・財政編です。寄付者の皆さまにとって、「寄付金がどのように使われているのか」は、最も気になることではないでしょうか。そのため、当会では毎年本誌9月号にて、前年度の収支決算と寄付金の状況をご報告しています。今回はさらに、拡充された税制優遇制度についても、詳しくお知らせします。

未来を築くロータリー財団 世界から差し伸べられた支援が被災地に P28

今月からはじまったシリーズです。ロータリー財団の資金を活用して実施されたプロジェクトをご紹介します。

やさしいロータリー財団の話 26ドル50セントから始まった P28

今月から始まったシリーズです。新会員に向け、ロータリー財団について紹介します。

はじめる一歩 クラブの定款と細則 P29

新会員の方に向けてのコーナーで、前年度に続いて連載です。今回は「クラブの定款と細則」。

いのちの森を未来につなぐ あなたとあなたの愛する人のために P2-6

(公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長・横浜国立大学名誉教授

宮脇 昭

木を植えるということは、単なる小手先の技術ではなく、明日を植えること、命を植えること、そして心に木を植えることであると、あらためて再確認させられました。

この人、この仕事

テーラーの意地 軽やかに華やかに P7-9

(株)神谷ガーメント 代表取締役社長 神谷 裕之

名古屋中ロータリークラブ

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

職業を通じて会員個人を紹介します。今回は名古屋中ロータリークラブの会員です。

卓話の泉 P10-11

「包む」という話

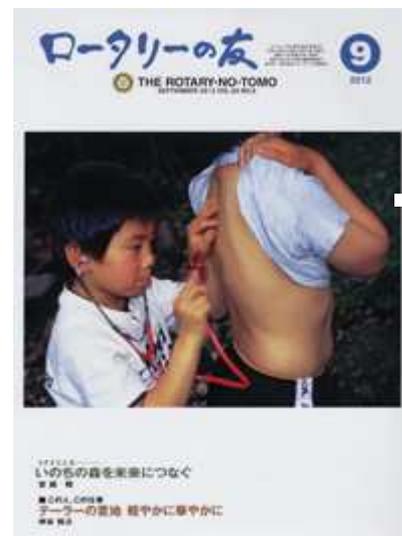
耳、鼻、喉の老化

印材の種類

例会での卓話を要約して掲載しています。この欄は、各クラブからロータリーの友事務所に定期的にお送りくださった会報・週報から、一般的に豆知識として活用いただけるような卓話を選び掲載しています。

ロータリー俳壇 歌壇 柳壇 P12-13

投稿をそれぞれの選者が選び、掲載しています。



バナー自慢 P14-15

各クラブのバナーを紹介していきます。会員の皆さまの投稿のページです。

同論・異論 P16-17

「同論・異論」は、各テーマについて、皆さまのご意見をうかがうコーナーです。今年度からリニューアルし縦組みになりました。今回のテーマは「クラブの合併は必要か？」

友愛の広場 P18-22

会員の皆さまの投稿のページです。ロータリーから少し離れて自由に、またロータリーライフでの意見、思いを語ります。

ロータリー・アット・ワーク P23-35

会員の皆さまの投稿のページです。各ロータリアン、各クラブの個性あふれる意見や活動を紹介しています。



表紙のメッセージ P36

8月号からは、会員の応募写真、横・縦2つの表紙を飾っています。横は第2700地区・埼玉県の春日部クラブ・染谷英壽会員、縦は第2690地区・島根県の出雲中央クラブ・古瀬俱之会員の作品です。解説は引き続き、岡井耀毅氏です。